

オリーフ通信

見よ、それは極めて良かった。

創世記 1章 31節

神愛保育園

「雨を楽しむ」

暦の上では衣替えを迎え、梅雨入りも目前となりました。今年は東京でも5月から30℃を越えて真夏日を観測するなど異例の暑さとなっています。大気の流れの変化や地球温暖化の進行が影響し、近年は気温が上がる時期が早くなっているようです。まだ暑さに体が慣れていないこの時期は、保育園でも意識的に水分補給や休息を行い、熱中症に気を付けて過ごしていきたいと思います。今月はプール開きや水遊びなど夏の活動も始まります。子どもたちの健康と安全を守りながら、楽しい活動を取り入れていきたいと思っています。

さて、6月といえば雨が多く送迎も大変な時期ですね。雨が降ると大人は困ってしまうことも多いですが、子どもたちにとっては発見や楽しみが詰まった時期でもあります。雨の日にしか使うことができない長靴やレインコートそして傘は子どもたちにとっては特別の1つです。重たさや歩きづらさよりも嬉しさの方が大きいのでしょうか。大人目線では水溜りができていれば「こっち側の水がないところを歩いてね」と濡れない選択が当たり前になってしまいます。しかし子どもたちにとっては、水の中に入るというワクワク感、入った時の水の感触、水の跳ね方や跳ねる音など、普段の生活とは違う様々なことを感じられる特別な場所なのでしょう。水溜まりをチェックポイントのように通過しながら歩いて行く子を見ると、子どもの頃の自分や、「早く歩いて」と言われていたことを思い出します。毎日忙しい中での子育てではありますが、子どもたちが今を楽しんでいる瞬間なのかなと感じています。

水溜まりに入らなくても、雨を楽しむ子どもの姿はいっぱいあります。2024年度から神愛保育園では「とうきょうすくわくプログラム」に取り組み、去年は「大きさ」というテーマで1年間活動しました。その中で3歳児クラスが「音の大きさ」についての探求に発展しました。音について色々な思いを伝え合う中で「雨の音ってどんな音なのだろう？」と自然の音に目を向ける瞬間がありました。子ども二人で雨の降るテラスの窓に耳を押し当て、「たばたばって聞こえる！」「さくさくだよ」と自分が感じた音を感じたままに言葉で表現し、伝え合っていました。お互いにそれぞれの表現を受け止め合っていたという姿を聞き微笑ましく感じました。

イメージ活動にはこれが正解というものはありません。自分が感じたことを思ったままに表現できることが大切だと思います。子どもたちの頭の中は柔軟です。面白い意見がたくさん出てきます。思いを受け止めて、認めてもらえることで楽しさも広がり、次のイメージへと繋がっていくと思います。外に出られないこの時期にも子どもたちは色々なことに出会い、それを見逃さずに探求しています。子どもたちの今に目を向け、一緒に楽しんでいきたいです。

雨の音ってどんな音？



たばたば？
さくさく？
みなさんは
どんな音に
聞こえますか？？

神愛保育園副主任 阿部 絃介

雨上がりの楽しみ♪
テラスに残った水溜まりを見つけ手形スタンプあそび♪



保健だより 2026年6月



5月は25度を越える真夏日の日もあり、半袖シャツで元気に過ごす子ども達の姿がありました。また梅雨の走りのような雨の日もありました。今月は本格的な梅雨の時期となり、高温の日も増えてきます。園では、空調(換気と扇風機・エアコン使用)で温度・湿度管理をしています。感染症対策と共に高温対策も気を配っていきます。

【熱中症に注意】

身体が暑さに慣れる前に高温の日が続くと、熱中症の危険が出てきます。園では、熱気球計を使用し、熱中症アラートが出る危険な日には屋外活動を控えます。ご家庭でも、こまめな水分補給とエアコンの適切な使用で熱中症を防ぎましょう。また、口から水分が摂れなくなる、顔色が悪く会話が難しいことがあったら、救急車を呼んで下さい。園でも熱中症対策をしながら、活動していきます。

【歯科検診】

6月17日歯科検診が実施されます。虫歯の有無だけでなく、歯周の状態・磨き残し・噛み合わせなどを診察してもらいます。結果は当日お配りします。家庭での様子観察と歯科受診をお願いする場合の2種類になります。また、異常がなかった場合にもお知らせします。歯科受診をされた場合は、結果の提出をお願いします。江東区では最低年一回の歯科検診受診が定められています。なるべくお休みなく登園してください。



◆気になる感染症

はしか(麻疹)はご存知でしょうか?

東京都内では、はしかの患者報告数が過去10年で最多となる規模で急増しています。はしかは感染力がとても強く、手洗い、マスクのみで予防できない病気です。今回は、そんな「はしか(麻疹)」について紹介します。

38度前後の発熱が2~4日続き、咳や鼻水といった風邪のような症状と口の中にコプリック斑という特有の発疹が出ます。その後、赤い小さい発疹が顔や体へと広がります。

多くは7~10日で症状が回復しますが、肺炎や中耳炎を合併することがあり、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発生すると言われていています。

MRワクチン(麻しん・風しん混合ワクチン)の予防接種が最も有効な対策です。2回接種します。公費による1回目は1歳~2歳未満です。2回目は5~7歳未満で小学校就学前に接種します。この疾患は、登園の際に意見書が必要です



～地域の親子と園児の交流～



雨に濡れた紫陽花が優しく色づき始め梅雨の気配を感じる季節となりました。

ひだまりでは今年も利用者さん親子と一緒に夏野菜のなす、大葉、枝豆を植えました。



お散歩の行き帰りにクラスのお友だちが保育者と一緒にひだまりへ立ち寄ってくれます。野菜が大きく育つ様子をひだまりさんや園児たちと一緒に楽しめたらと思います。

また、ひだまりの野菜たちが大きく育ち、できた野菜を持ち帰りママに料理をしてもらったり、ランチタイムと一緒に食べたりして食に興味を持ってもらえたら嬉しいなと思っています。



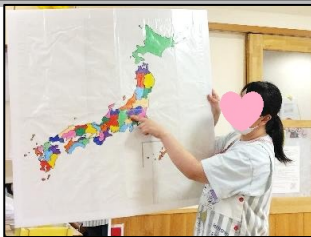
食事だより



今年度も郷土料理を行っていきます!!

神愛保育園では「郷土料理の日」という献立日を設けて日本の各都道府県の郷土料理を提供しています。昼食とおやつの中で1～2品をその月の郷土料理として提供し、ひまわり組には大きな日本地図と都道府県の絵本を通して、その土地や食べ物の話をします。年中の子どもたちは初めて聞く「郷土料理」という言葉や、「日本地図」にとっても興味を持って真剣に聞いていて、たくさん質問もしてくれました。年長の子もたちは昨年度から郷土料理の話を聞いているので、少しレベルアップした内容でクイズを織り交ぜた話をしました。次回から、ちゅうりっぷ組には放送を通して話す予定です。

郷土料理には野菜を使った物が多く、生ものを使った料理は保育園では提供出来ないのもメニューは限られてしまうかもしれませんが、子どもたちがこの取り組みを通して少しでも食に興味を持ってくれたら嬉しいです。最近は子どもたちの食べやすさを重視して、B級グルメなども取り入れています。保護者の皆様にも伝わりやすいように、サンプルケースに日本地図を設置する予定です



特別献立の日には、神愛保育園のInstagramのストーリーでお知らせしています。今までの料理もハイライトにまとめているので、ぜひご覧ください。

花の日ってなあに？



1868年にアメリカの教会で「こどもの日」が始まりました。アメリカではこの頃ちょうど学年が変わる時期、教会では子どもたちと大人の交流の時が持たれ、花の豊かなシーズンだったので、花を持ち寄り飾ったことから「花の日」とも呼ばれるようになりました。日本では、この花を持って病気の方を見舞ったり、社会のために働いている方を訪問したりします。

神愛保育園では、交番、消防署、デイケアセンター、ゴルサムパンや、ご近所の方々を訪問させて頂いています。神の恵みを覚え傍らにいて見守って下さる方々に感謝を表し、子どもたちの訪問を喜んでくださる方がいることを覚えたいと願っております。お花は園で用意したものを持参します。

～神愛保育園卒園の中1・高1の同窓会がありました～

5月30日（土）に新中学1年生、新高校1年生の同窓会がありました。同窓会は小学校1年、中学1年、高校1年と節目に声を掛けて行っています。今回は、部活や行事などで参加出来なかった卒園児たちもいましたが、参加してくれた卒園児たちの様子をお知らせします。午前中は中学生の会で参加は5名でした。中学生達は卒園の頃がちょうどコロナ禍での卒園でした。卒園アルバムや文集を見て懐かしんだり、キャンプの映像では幼い自分たちを見て恥ずかしがる中学生たちでした。午後は高校生の会でした。高校生たちも授業や部活があり、参加者は4名でした。高校生たちは旧園舎から仮設園舎での卒園でした。久々の保育園に来るのを楽しみにしていた高校生たちで、今年から園長になった大滝さんは高校生たちの乳児クラスの担任でもあり、高校生たちも「懐かし～」と大はしゃぎでした。当日はオンラインで参加された方が多く、大滝さんが参加してくれ、卒園児たちを懐かしんでいました。

中学1年生たち



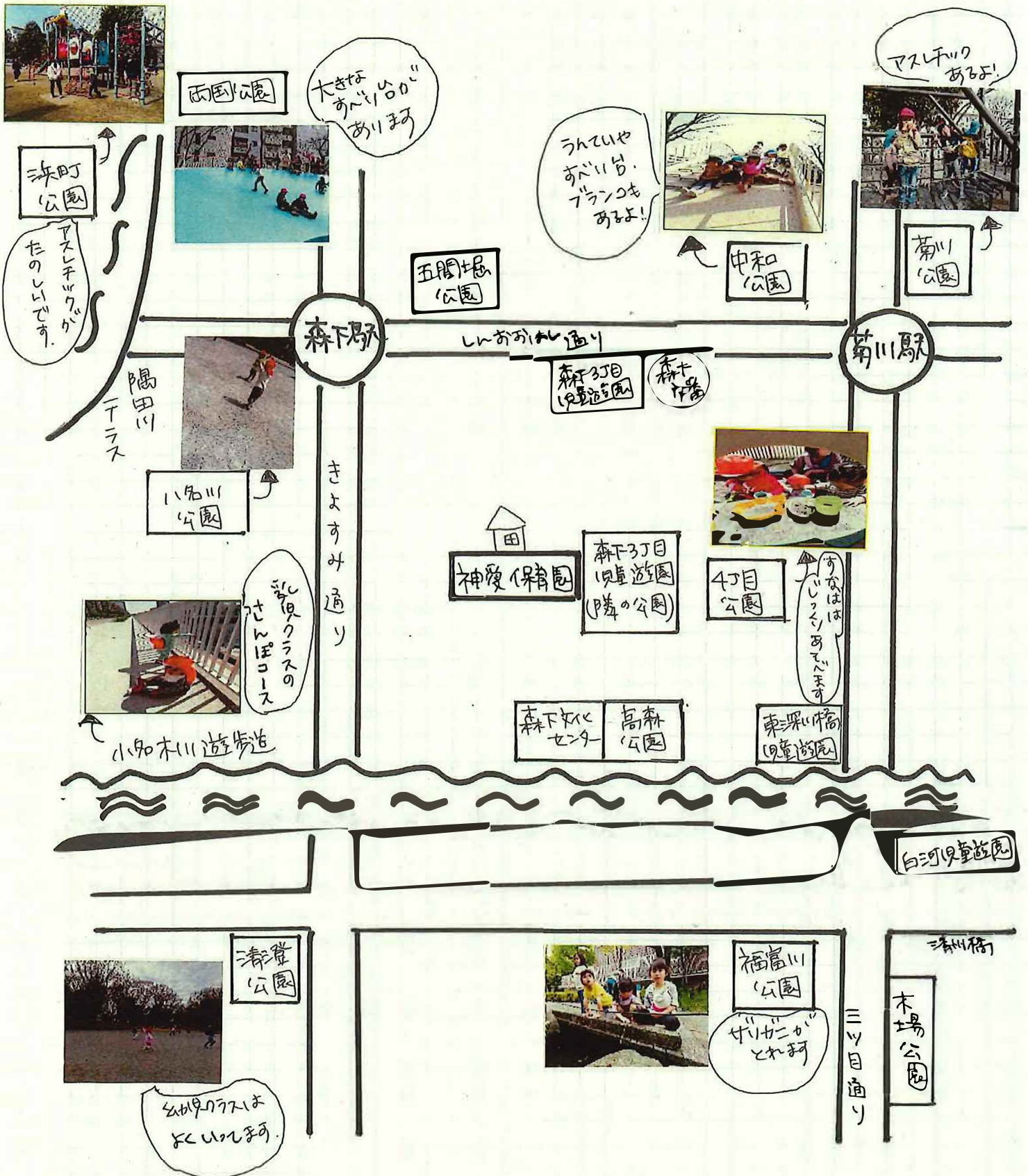
オンラインで参加の皆さんの様子



高校1年生

神後保育園 おさんぽMAP

日頃、子どもたちが遊べるにでかいている公園の場所をご紹介します。
みなさんはいくつかの公園をご存知ですか？



～絵本紹介～

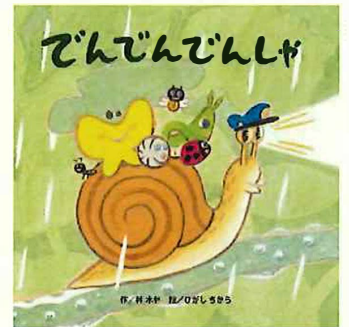
紫陽花の花が少しずつ色づき始め、梅雨の気配を感じる時期となりました。雨が降ると室内で過ごすことも多くなってきますが、子どもたちは雨が大好きです。お気に入りの傘をさしたり、レインコートを着たり、長靴で水たまりを踏んでみたりと雨の日はウキウキします。今回は、新しい発見があったり、想像したりと、雨の日を楽しめるような絵本をご紹介します。

「でんでんでんしゃ」 作：林 木林 絵：ひがし ちから

出版：ひさかたチャイルド

葉っぱの下で雨宿りをしている虫たちのもとに、でんでんでんしゃがやってきます。雨の日限定、ゆっくりのんびり走るでんでんむしの電車で特別なおでかけがスタートです。

てんとう虫やだんごむし、紫陽花など様々な虫や植物も登場する、梅雨の時期にぴったりの絵本です。



「そらからふるもの なんだっけ？」 作・絵：岩田 明子

出版：大日本図書

お留守番をしているかみなりちゃん、憧れのお父さんの真似をしたくなりました。太鼓をどん！と鳴らしますが“あめ”が思い出せず…。まめ？こめ？かめ？と次々に違うものが降ってきます。かみなりちゃんは“あめ”を降らせることができるのでしょうか…！

色々なものが空から降ってくる様子に思わず笑ってしまう、楽しい絵本です。



「ふしぎなかさやさん」 作・絵：たなか 鮎子 出版：講談社

傘を持たずに遊びに出かけたレミ。急に強くなる雨に思わず「あめなんて、だいきらい！」と叫びます。すると、かさやさんの奥から「あめ、おきらいですか？」と声がして…。

色とりどりで華やかな絵に、傘をぱっとひらく瞬間のわくわく感をたくさん楽しめる絵本です。





ともにそだつ



私たちは、保護者の皆さんと共に子育てをしています。
園の中での子どもの様子を伝え、子どもの育ちを共に考え、
喜びを共有したいと願いながら、この保育日誌紹介のコーナーを
設けています。ともに子どもから学んでいきましょう。

2026年5月7日（木） 天気 晴れ たんぽぽ組（1歳児）

「 楽しい山登り 」

今日は久しぶりの保育園ということもあり、少し疲れている様子が見られた子どもたちだったが、公園に散歩に行くと、たくさん走ったり、砂場遊びをしたりと楽しむ姿が見られた。四丁目公園に行くと、山に登る子が多く、Aは嬉しそうに山を登って行った。手をつかなくても頂上までスイスイ行くことが出来、頂上に着くと下にいる保育者に「おーい」と言って手を振ったりしていた。山から下りるのもおしりを地面につけながら、下まで降りていた。体の使い方も上手になってきていて、できることが増えているので、遊び方も変わり成長してきているように感じる。怪我に気を付けながら、色々なことに挑戦できるようにしていきたい。

連休明けの登園で朝のうちは生活リズムが戻らず、大好きなおうちの方と離れる寂しさから涙する姿も見られたたんぽぽ組の子どもたち。しかし、この日はお天気にも恵まれたため、四丁目公園へお散歩に出かけました。公園に着くと、大好きな砂遊びだけでは物足りない様子で、みんなで元気いっぱい山登りに挑戦していました！

1歳児クラスは、少し前に1歳を迎えた子から、もうすぐ2歳になる子までが一緒に過ごしており、心も体も著しく発達する時期です。子どもたちにとって、生活の中で出会う物や出来事はすべてが新鮮で、大きな興味の対象です。「大人の真似をして、自分もやってみたい！」という意欲にもあふれています。時には、大人から見ると少し困ってしまう行動に繋がることもありますが、それは困らせようとしているのではなく、純粋な好奇心や探究心からくるものです。ここで大人が制限や禁止をしすぎてしまうと、芽生え始めた「やってみたい」という大切な意欲を抑え込んでしまうことにもなりかねません。

のびのびと挑戦したいという気持ちの根底には、「いつでも優しく見守ってくれる大人がいる」という安心感が不可欠です。月齢による発達の幅が大きい時期だからこそ、一人ひとりに合わせた環境を工夫し、子どもたちの「やりたい！」という輝く意欲をしっかりと受け止めながら、毎日の保育を進めてまいりたいと思います。

